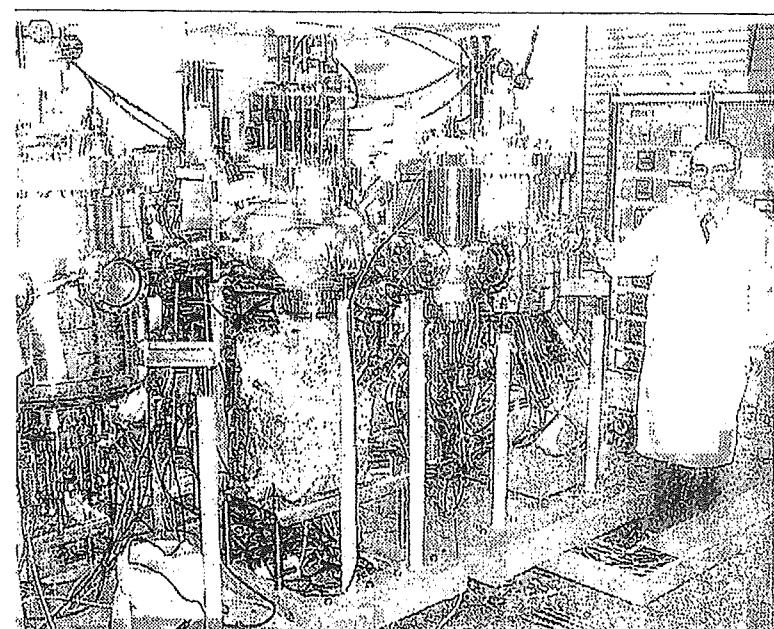


100㍍四方の開発となつた山麓地帯には、前野社長（亀岡市・エピクエスト本社）



A large, stylized seal impression in red ink, featuring the characters '100' at the top left, '岁次戊戌' (Year of the Dog) in the center, and '金榜题名' (Passing the imperial examination) at the bottom right.

創業5年目 エピクエスト

半導体製造装置開発のベンチャーエピクエスト(亀岡市)は、二〇〇〇年の創業から百台目となる装置開発に成功し

た。大学などを中心に販路を広げ、研究向けではシェアが五割以上に高まり、業界で注目を集めていふ。

同社は半導体に使う
薄膜を製造する分子線結晶成長装置(MBE)と
有機金属気相成長装置

年前にエピクエストを設立。製造装置に特化した開発を始めた。

開発部門でMBEとMOVCDの研究に取り組んだ。しかし、同社の事業分割などに伴い、事業継承会社での研究も経て四

(MOCVD) の両方を手がける国内では珍しいメーカー。百台目となつたのは、超高真空搬送室を備えた最新型のMBE装置で豊橋技術科学大への納入が決まった。

一合数百万円から数億円まで相手先に合わせた幅広い装置を手がけ、国内で研究機関向けシェアは五割以上。二〇〇三年三月期の売上高は三億八千万円、本期の売上高も四億円を見込み、增收増益を続けている。

取引先は全国の大学や企業の研究所など幅広い。同社は、小規模の事業所でも納入できるように、コンパクトなオールインワンタイプの面発光レーザー製造向けの酸化装置を開発するなど工夫も凝らす。